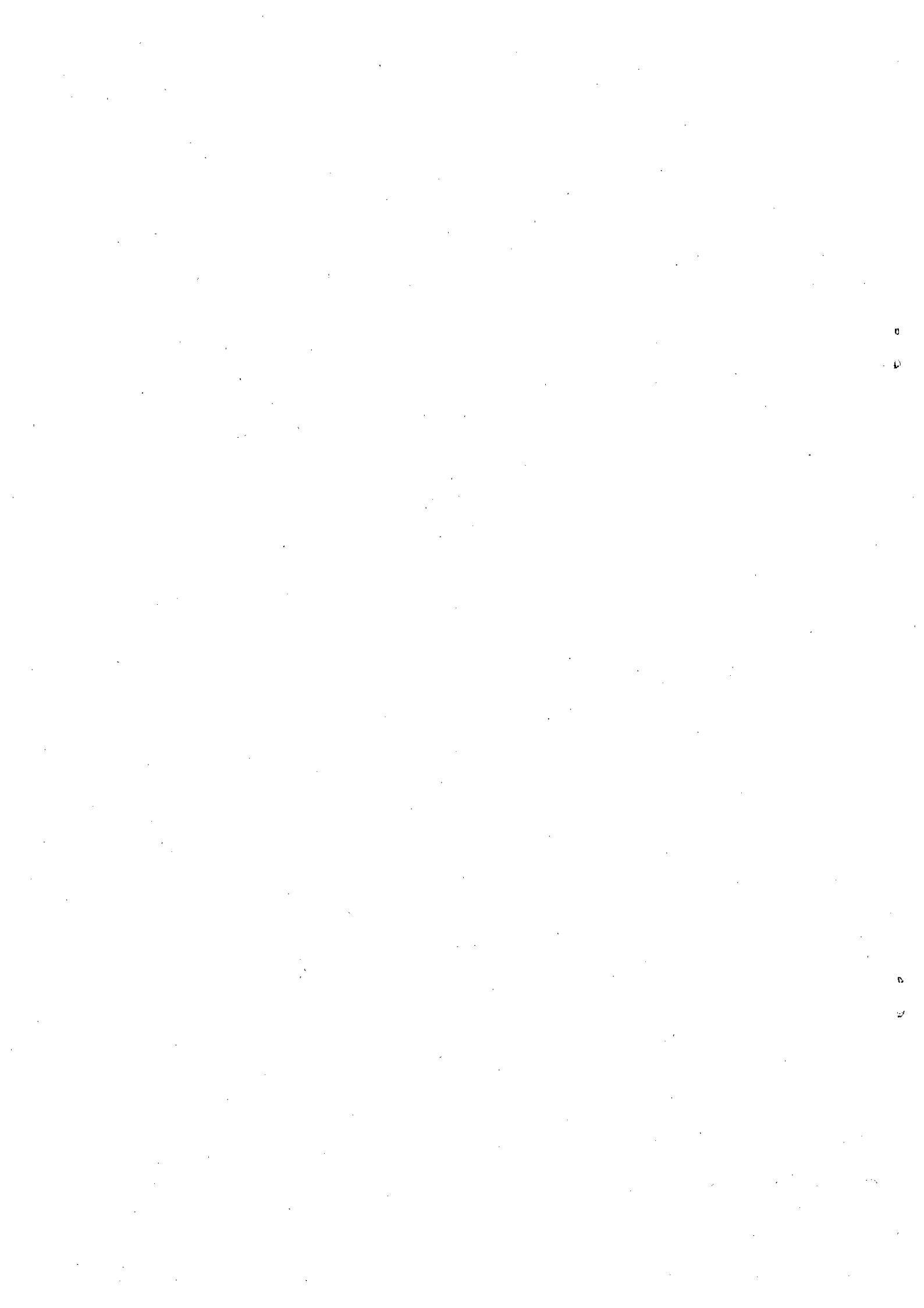


# 地域振興県土警察常任委員会資料

(平成27年2月13日)

- 犯罪抑止総合対策の推進状況（平成26年中）について ..... 1  
(生活安全部生活安全企画課)
- ドライブレコーダーの記録データの提供に関する協定の締結に  
ついて ..... 2  
(交通部交通指導課)  
(刑事部刑事企画課)
- 運転免許自主返納制度を通じた高齢運転者安全対策について ..... 3  
(交通部運転免許課)

警 察 本 部



# 犯罪抑止総合対策の推進状況（平成26年中）について

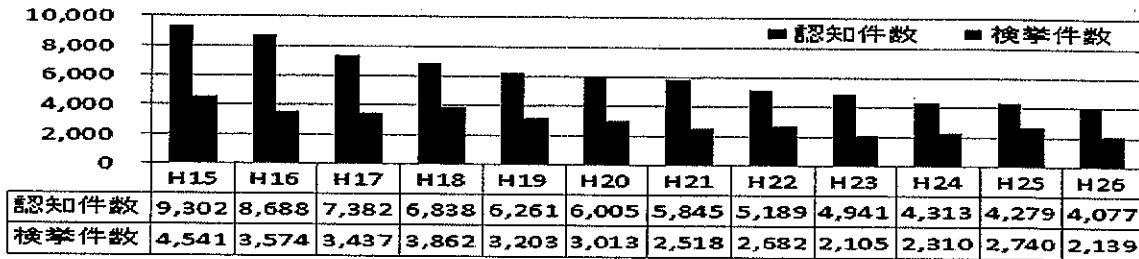
平成27年2月13日  
警察本部  
(生活安全部生活安全企画課)

平成26年中の刑法犯認知件数等の状況について、以下のとおり報告する。

記

## 1 刑法犯認知・検挙件数の状況

- 県内の刑法犯認知件数は4,077件で、前年同期比202件(4.7%)減少し、平成16年以降11年連続で減少
- 戦後最多であった平成15年(9,302件)の約4割
- 検挙件数は2,139件で、検挙率は52.5%
- 全国の刑法犯認知件数は、1,212,240件(前年比-7.8%)で12年連続減少
- 全国の検挙件数は、370,600件で、検挙率は30.6%



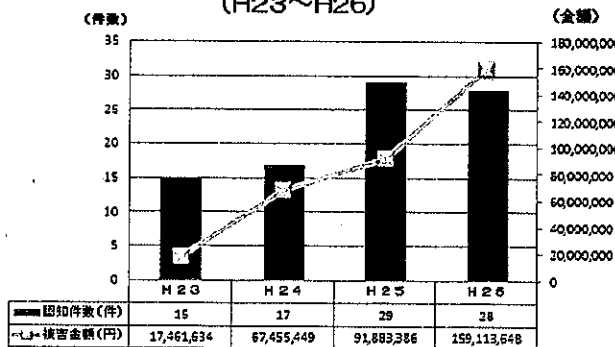
## 2 抑止重点対象罪種認知件数の状況

区分	刑法犯認知件数	重点罪種合計	重点罪種							
			自転車盗	車上ねらい	自販機ねらい	性犯罪	侵入盗	特殊詐欺	器物損壊	万引き
H26	4,077	2,644	978	286	28	19	301	28	395	609
H25	4,279	2,647	898	274	23	29	301	29	428	665
増減数	-202	-3	+80	+12	+5	-10	0	-1	-33	-56
率(%)	-4.7	-0.1	+8.9	+4.4	+21.7	-34.4	0	-3.4	-7.7	-8.4

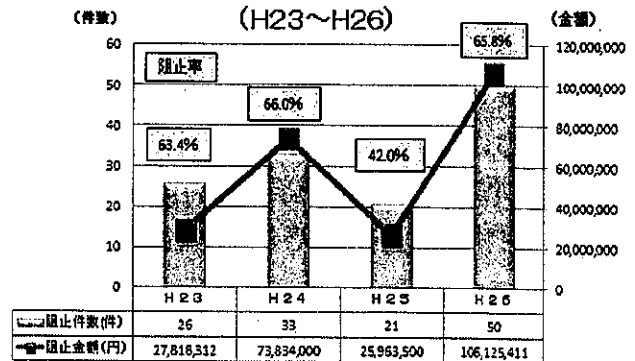
- 重点罪種の認知件数は2,644件で、前年比3件(0.1%)減少、刑法犯認知件数全体に占める割合は64.8%

## 3 特殊詐欺の状況

特殊詐欺被害認知件数と被害金額の推移 (H23~H26)



水際阻止の件数と金額の推移 (H23~H26)



- 平成26年中の被害状況(県内)
  - ・認知件数 28件
  - ・被害金額 1億5,911万円

- 平成26年中の水際阻止状況(県内)
  - ・阻止件数 50件
  - ・阻止金額 1億612万円

- 全国では、認知件数13,371件、被害額559億4千万円となり、被害額が初めて500億円を超えて過去最悪の状況

## 4 今後の犯罪抑止対策の推進事項

- 人身安全関連事案(DV・ストーカー等)への適切な対応
- 高齢者を中心とした特殊詐欺被害防止対策
- 地域の犯罪情勢に即した効果的な抑止対策及び検挙活動
- 防犯カメラの設置拡充
- 自治体、企業、防犯ボランティア等と連携した防犯活動

## ドライブレコーダーの記録データの提供に関する協定の締結について

平成27年2月13日  
警察本部  
(交通部交通指導課)  
(刑事部刑事企画課)

ドライブレコーダーの記録データの提供に関する協定を締結したので、下記のとおり報告する。  
記

### 1 目的

一般社団法人鳥取県バス協会と鳥取県警察との間において、ドライブレコーダーの情報提供に関する協定を締結することにより、交通事故・事件、各種犯罪が発生した際、同協会の会員であるバス会社から映像情報等の提供を受け、事案の早期検挙・解決を図り、安全で安心な鳥取県の実現を推進することを目的とする。

### 2 協定の締結日時・場所

1月30日(金)午前11時00分から  
警察本部 第7会議室

### 3 協定者

一般社団法人鳥取県バス協会  
(16事業者加盟)  
鳥取県警察本部交通部・刑事部



### 4 運用

本年2月1日から運用を開始しており、県警察本部は、交通事故・事件、各種犯罪が発生した際、被疑者の早期検挙等に必要が認められる場合、当該事案の発生日時・場所における加盟事業者の運行状況及び目撃情報等について、協会に対して情報提供を依頼し、依頼を受けた協会は、加盟事業者の使用に係るドライブレコーダーの情報等の有無、保有する場合は、その事業者名を県警察本部に提供する。

### 5 備考

同趣旨の協定は、平成25年11月29日、一般社団法人鳥取県トラック協会との間で締結している。

# 運転免許自主返納制度を通じた高齢運転者安全対策について

平成27年2月13日  
警 察 本 部  
(交通部運転免許課)

高齢運転者の安全対策のため、運転免許を自主的に返納したいと考える高齢運転者を対象として、運転免許を返納しやすい環境の整備に努めているところであるが、この度、その趣旨に賛同をいただいた皆生温泉旅館組合長と西部地区警察署長が運転免許自主返納特典制度に関する覚書締結式を行ったので報告する。

## 記

### 1 運転免許の自主返納制度

運転免許の自主返納制度は、加齢に伴う身体機能や判断能力の低下により、運転に不安を感じる方などが自主的に運転免許の取消しを申請することができる制度(平成10年4月から)であり、高齢運転者(認知症ドライバー等)対策の一環となっている。

#### ※ 高齢運転者対策

- 高齢者講習(認知機能検査を含む)、一定の病気等による行政処分、運転適性相談等
- 医師会と連携した広報・研修会、家族会等に対する研修会、市民講座における講演等

### 2 自主返納件数等の推移(過去5年)

区 分	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
自主返納件数	201	860	760	681	929
高齢者の自主返納件数	186	818	712	644	874
高齢者以外の自主返納件数	15	42	48	37	55

※ 運転経歴証明書申請手数料の支援、タクシー運賃割引制度が導入された平成23年に大幅に増加し、更に、昨年一定の病気等に関する道路交通法が改正されたため約36%増加した。

### 3 運転免許自主返納者に対する支援施策推進状況

- 運転経歴証明書の手数料全額(1,000円～交通安全協会の会員対象)を補助(H22.12.10～)
- タクシー運賃の割引制度(H23.1.1～)
- 自治体の支援制度(バス運賃助成)
  - ・ 境港市(H23.4.1～)・智頭町(H23.4.1～)・大山町(H26.4.1～)
  - ・ 江府町(H23.4.1～)・伯耆町(H26.4.1～)

### 4 覚書締結式

- (1) 日時  
1月23日(金)午後2時～午後2時15分の間
- (2) 場所  
米子警察署大会議室
- (3) 出席者(締結者)
  - 皆生温泉旅館組合  
組合長 宇田川英二
  - 西部地区警察署  
八橋、米子、境港、黒坂の各警察署長
- (4) 覚書の内容

運転免許自主返納者に対する特典制度に関する覚書締結式



皆生温泉旅館組合に加盟する16旅館における日帰り入浴プラン「湯めぐり」の入浴料を運転経歴証明書を発行されて1年以内、西部地区4警察署の管内の住民に限り2割引とするもの。

